

## 第 2 回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙①

### 応 募 者 に 関 す る 情 報

記入日： 2012 年 12 月 10 日

応 募 者 情 報	
応 募 団体名	<p>(フリガナ)      ダイサンジュウイッカイヨコハマカイコウサイジッコウイ ンカイ</p> <p>(団体名)      第 31 回横浜開港祭実行委員会</p> <p><small>※協働プロジェクトでの応募の場合は、代表団体名以下プロジェクトに参加している 主な団体名をご記入下さい。</small></p>
応 募 担当者 連絡先	<p>団体名：      笹田実業株式会社</p> <p>所在地：      〒231-0813 神奈川県横浜市中区かもめ町 39 番地</p> <p>部署名：</p> <p>役職名：      常務取締役</p> <p>氏 名：      笹田 一成</p> <p>TEL：      045-621-3471      FAX：      045-623-2840</p> <p>E-Mail：      <a href="mailto:kazunari@sasada-jitugyo.com">kazunari@sasada-jitugyo.com</a></p>
ホームページ	http://www.sasada-jitugyo.com/
<p><b>応募団体の主たる事業</b>（※行政の場合は、記入は不要。最大 2000 字入力できます。詳細は別紙添付可）</p> <p><small>笹田実業株式会社は、「海上コンテナ輸送・産業廃棄物の収集運搬、積替え保管・一般廃棄物の収集運搬・家屋の解体・省エネ照明機器の販売・生産ラインの請負事業・イベントの企画運営」等多くの事業を手掛けております。全ての事業に対し弊社が共通して取り組んでいる事は環境負荷の低減です。これからの未来へ繋がる快適な環境作りに日々チャレンジをし皆様の生活の架け橋になるような企業を弊社は目指しております。</small></p>	

## 第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙②

### 応募するカーボン・オフセットの取組についての基礎情報 (1次審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙②全体で A4 用紙 3 ページ以内にまとめてください。

※第1回カーボン・オフセット大賞の1次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : [http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry\\_datalist.html](http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_datalist.html)

#### 1. 応募するカーボン・オフセット活動の名称・タイトル

カーボン・オフセット認証を取得済みの活動については、認証番号もあわせて記載下さい。

第31回横浜開港祭のカーボン・オフセット

#### 2. カーボン・オフセット活動の概要

##### <カーボン・オフセットの分類>

以下の4分類からひとつ選び、□に✓をつけてください。

- 商品使用・サービスオフセット
- 会議・イベントオフセット
- 自己活動オフセット
- 自己活動オフセット支援

##### 【参考】

環境省による「カーボン・オフセット第三者認証基準(Ver.1.1)」に基づく分類

<http://www.jcs.go.jp/pdf/document/ki jun.pdf>

##### <カーボン・オフセット対象・・バウンダリ>

カーボン・オフセットの取組内容に関して、オフセットの対象範囲をお書きください。

【例】3①-1に記載した算定範囲と同じ or 算定範囲のうち、○○、○○の部分に関してカーボン・オフセットの対象とした

第31回横浜開港祭まつりで排出されるCO2

- 事業系一般廃棄物
- 軽油の廃棄
- 来場者の移動

##### <カーボン・オフセットの取組の実施期間>

カーボン・オフセットの実施期間についてお書きください。その際、2010年1月1日以降にカーボン・オフセットを実施継続している事例または2010年1月1日以降にカーボン・オフセットを開始した事例であることが応募にあたっての必要要件となりますので、御注意ください。

【例】2009年4月1日から2009年10月31日までが取組の実施期間の場合⇒応募資格外  
2009年4月1日から2012年3月31日までが取組の実施期間の場合⇒応募資格有  
2012年3月15日以降、現在も継続中（終了時期未定）の場合 ⇒応募資格有

- 2012年6月2日、3日

## <カーボン・オフセットの取組に関する情報提供方法>

自社 HP 等、カーボン・オフセットの取組をウェブに掲載されている場合は、URL を記載願います。

■ CARBON NEUTRAL ASSOCIATION (カーボンニュートラル協議会) イベント紹介 HP  
[http://carbon-neutral.jp/kanagawa\\_in/2012/07/31.html](http://carbon-neutral.jp/kanagawa_in/2012/07/31.html)

## 3. 1次審査項目

### ①自らの行動に伴う温室効果ガスの排出量の認識

カーボン・オフセットの取組内容に際して、排出量の算定についてお書きください。

#### (自己活動オフセット支援以外の場合)

##### ①-1 排出量の算定方法及び算定範囲

・算定対象

■第31回横浜開港祭まつりで排出されるCO<sub>2</sub>

・算定範囲

■事業系一般廃棄物

■軽油の廃棄

■来場者の移動

合計排出量は、115,079.9kg-CO<sub>2</sub>となった。

算定に当たっては、カーボン・オフセットの対象活動から生じる温室効果ガス排出量の算定方法ガイドライン (Ver. 2.0) を用いた。

##### ①-2 排出量の算定に利用したデータ種類

- ・会場の廃棄物量、経路使用量、BDF使用量
- ・生ゴミ、瓶、缶、ペットボトルや事業系一般廃棄物量および会場で使用される軽油使用量
- ・来場者(10万人)電車の移動(半径30km圏内)

#### (自己活動オフセット支援の場合)

##### ①-3 利用者に帰属する排出対象活動

【例】利用者の1日の日常生活に伴う排出量 ○○kg

【例】購入製品使用時に伴う利用者に帰属する排出量のうち購入後1年分にあたる、○トン。商品販売時に顧客に提示。

##### ①-4 利用者に対する排出量の提示方法

### ②排出削減努力の実施

取り組まれた排出削減努力について該当とする取組に✓をつけてください(複数可)。なお、取組のアピールも含めた詳細については、応募用紙③「1.CO<sub>2</sub>排出削減努力と関係者の理解や協力」に詳しく記載して下さい。

- 節電    節水    廃棄物の減量化    省電力機器の導入    公共交通機関の利用・呼びかけ  
 その他(具体的に \_\_\_\_\_ )

### ③オフセットの手続き

#### <カーボン・オフセットに利用したクレジット等の種類>

使用したクレジット等の種類をお書きください。なお、異なるクレジットを併用した場合の各割合（％）についても記載してください。【例】J-VER（○％）、CER等（△％）など

・国内クレジット（101トン）  
 宮城 00383-556～00383-570  
 新潟 00513-1～00513-9  
 埼玉 00621-1～00621-9  
 岩手 00760-102～00760-111  
 滋賀 00544-51～00544-59 , 00910-1～00910-9  
 神奈川 00653-1～00653-20 , 00678-87～00678-106

・J-VER（15トン）  
 岡山 JP-200-000-000-053-898  
 愛媛 JP-200-000-000-123-849  
 高知 JP-200-000-000-094-914  
 福岡 JP-200-000-000-085-60～JP-200-000-000-085-64  
 秋田 JP-200-000-000-027-418～JP-200-000-000-424

### <カーボン・オフセットに利用したクレジット等のプロジェクト名称>

使用したクレジット等の具体的な温室効果ガス削減・吸収プロジェクト名をお書きください。

排出事業者	プロジェクト概要	地域	トン数
有限会社トミランドリー	リネン工場におけるボイラー効率化による排出削減事業	高城	15
株式会社ジョイス	食品スーパーにおける照明設備の更新(LED化)	岩手	10
弁天町共同ビル株式会社	事務所ビルにおけるヒートポンプの導入による熱源設備の更新	新潟	9
巴協栄リネン株式会社	クリーニング工場におけるボイラーの更新(ドレン蒸気再利用)	埼玉	9
湯本館	宿泊施設におけるボイラーの更新(重油→都市ガス)	滋賀	9
名城食品株式会社	食品工場(麺類製造)におけるボイラーの更新(重油→都市ガス)	滋賀	9
北秋田上小阿仁村	森林吸収源(J-VER)	秋田	7
樽浜加次食品有限会社	食品工場におけるボイラーの更新(灯油→都市ガス)	神奈川	20
三進工業株式会社	缶詰工場における照明設備の更新	神奈川	20
岡山県	ママとちびっ子のふれあい森林吸収源プロジェクト(J-VER)	岡山県	1
東温市 学校給食センター B D F 利用プロジェクト	廃食用油由来のバイオディーゼル燃料の車両等における利用(J-VER)	愛媛県	1
高知県木質資源エネルギー	木質資源(J-VER)	高知	1
福岡市	福岡市営林間伐促進型プロジェクト(J-VER)	福岡	5
<b>合計</b>			<b>116</b>

### <カーボン・オフセットに利用したクレジットの無効化に関する状況>

取消、償却実施年月、もしくはその予定についてお書きください。

- ・国内クレジット  
2012年7月20日無効化済み
- ・J-VER  
2012年7月18日無効化済み

## 第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙③

### 応募するカーボン・オフセットの取組についてアピールポイント (本審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙③全体で A4 用紙 4 ページ以内にまとめてください。

※第1回カーボン・オフセット大賞の1次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : [http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry\\_datalist.html](http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_datalist.html)

#### 1. CO2 排出削減努力と関係者の理解や協力

##### ■ 排出削減努力について

今回のイベントを開催するにあたって、環境への配慮の為、バイオディーゼル燃料の使用および太陽光発電による再生可能エネルギーの導入、メインステージにおける LED 照明の導入をすることにより、二酸化炭素排出量の削減につとめました。また、来場者の方より使用済みの天ぷら油を御持ちいただく事により二酸化炭素削減に更に貢献いたしました。

##### ■ 関係者との協力について

開港祭実行委員会が主体となって開催している打合せなどに出席して、関係者に対しカーボン・オフセットの趣旨や削減努力の必要性などについて具体的な説明を行い、カーボン・オフセットへの取組を働きかけました。

#### 2. カーボン・オフセットの内容

##### ■ 取組の意義・重要性について

横浜市は「環境未来都市」としての認定を受けており、先進的に環境、低炭素社会への先進的な取り組みを実施していく必要があります。開港祭では、後述するように70万人の参加者だけでなく、様々な官公庁の協力のもと、イベントを実施しており、各主体にたいして、「環境」「低炭素」の啓発をすることは必須となります。このような背景をもとに神奈川のクレジットを活用しつつ、カーボンオフセットを実行することは市民と自治体が一体となっておこなった環境配慮型活動であると考えます。

##### ■ 取組の継続性・展開について

次年度以降においても、引き続き各種クレジットを用いたカーボン・オフセットの実施を検討しており、横浜市から発信できる環境配慮活動の先駆けになっていきたいと考えております。

#### 3. 環境、地域・社会、産業振興等の貢献性

る次の①～④のいずれか（複数可）の観点での貢献性についてアピールしてください。

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する河川・湖沼をはじめとする内水面や土壌・大気あるいは生物多様性といった自然環境への配慮や保全などの環境の面での貢献
- ②自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する地域・社会への経済的便益や効果、第1次産業と他産業との連携促進、地域活性化や一村一品活動の拡大などの地域・社会の面での貢献
- ③自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する中小企業振興や産業基盤にとって重要な安定的なエネルギー供給・確保、環境と調和した市場の牽引などの産業振興の面での貢献
- ④自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する国際貢献等、さまざまな面での貢献

##### ②地域・社会の面での貢献に関して

横浜市で開催される31回開港祭は来場者数70万人を超える一大イベントとなっており、市民や官公庁（横浜市水上警察、横浜市消防局、横浜市港湾局、国土交通省、海上自衛隊）にも参加いただいております。市民や行政による環境に配慮した取り組みを実施した上で、カーボンオフセットを行い、地域・社会における環境への啓発活動に寄与したと考えられます。

引き続きカーボン・オフセットの取り組みをイベントやHPで広報していくことで、市内の団体や企業にも取り組みが波及するよう活動を続けていく予定です。

【環境に配慮した取り組み】

- ・ バイオディーゼル燃料の使用
- ・ 太陽光発電による再生可能エネルギーの導入
- ・ 来場者の方より使用済みの天ぷら油
- ・ メインステージにおける LED 照明の導入

【参考：開港祭における様々な主体の協力例】

開港祭イベント紹介vol.3 ～官公庁艇パレード～

横浜港では、横浜水上警察署、横浜市消防局、横浜市港湾局、国土交通省、海上自衛隊、横浜清港会等の保有する多くの船がお仕事をしています。これらの艇が隊列を組んでパレードを行います。

官公庁艇パレードの詳細は、開港祭Blogをご覧ください。

<http://ameblo.jp/kaikosai/entry-11243255085.html>

艇のパレードは数あれど、これだけの官公庁が一堂に介したパレードは横浜開港祭だけなんです。

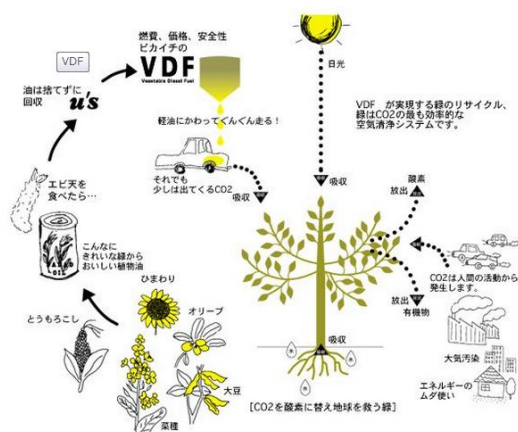
まさに港に感謝する市民祭だからこそ、これだけの組織・団体が協力して成り立っていることを象徴するイベントなんですネ！



## 4. 普及啓発の創意工夫とその成果

### ■取り組みの工夫に関して

開港祭では来場者に対して、植物油の排油をペットボトルに入れて持ってきていただくことで、環境活動の啓発を行なっています。身近な活動を取り上げ、実際にイベントの場でゴミが資源に変わることを体験していただきました。



開港祭で紹介した VDF について

### ■人々や社会に与えた影響に関して

70万人を超える参加者だけでなく、ブログやFacebookなどのメディアを活用することで、若い世代に対しても環境への取組を発信を行い、環境啓発に寄与することができたと考えております。

【参考：開港祭のFacebookページ】

<http://www.kaikosai.com/event/eco>



## 5. ストーリー性

### ■取組についての「魅力」「面白さ」「ユニークさ」に関して

開港祭では全体の全体のオフセット量の34%となる40トンのクレジットを神奈川県内の国内クレジットを活用しており、地元の削減努力団体、企業の活動のPRに寄与しております。そのほかにも各地域の国内クレジットやJ-VERを活用することで、横浜市が「環境未来都市」として先進的かつ、広範な地域を包括するオフセットを実施したと考えております。

### ■低炭素社会の実現への貢献に関して

開港祭では、下記に示す3つの取組みにより低炭素社会の実現への貢献に寄与しております。

また、エコステーションでは、地域のごみ収集業者様にご協力いただき、来場者・出展者等開港祭に関わる皆さんで「燃えるごみ」「プラ」「缶」「ペットボトル」など、9種類のゴミに分別し、100%無駄のない再生資源の回収を行っております。

横浜開港祭は日本で最もエコなお祭りです!

THANKS TO THE PORT

第31回横浜開港祭は“エコ”をテーマに環境負荷の低減に力を入れております。

- 1) 廃油を燃料にしたVDFによる発電
- 2) ソーラーパワートラックによる太陽光発電
- 3) エコステーションによるゴミの分別



VDF燃料発電は、植物油の廃油から軽油代替燃料を精製し、その燃料を使って開港祭会場内の電力を発電いたします。

また、当日はVDF燃料の元となる植物油の排油をペットボトルに入れて持ってきていただくことで、皆さんでエコに参加していただくとともに、エコについて考えていただく機会を提供します。(別紙参考資料)



ソーラーパワートラックは、7kwの発電能力を有した太陽光パネルで太陽光発電を行い、60kwのバッテリーで、開港祭会場内の電力を供給します。ソーラーパネルで埋め尽くされた大型トラックは圧巻です。

### エコステーションにおけるゴミの分別

### 開港祭における低炭素社会実現にむけてとりくみについて

以上に記載された取組について別途説明資料がございましたら、PDFの場合はメールでお送りいただくか、現物資料を郵

送ください。

また、公開可能な商品・サービスの様子がわかる写真を（JPEG等）お送りください。

**第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙一式 送付先およびお問い合わせ先**

カーボン・オフセット推進ネットワーク事務局

（担当：入山、井上）

〒東京都港区芝公園3-1-8 芝公園アネックス7階

電話 03-5776-1223 ファックス 03-5472-0145

E-Mail [award@carbonoffset-network.jp](mailto:award@carbonoffset-network.jp)